

2024年9月20日

## 欧州燃油規制への対応最適化 オーシャンスコアが新ツール、都内セミナーで紹介



船舶の温室効果ガス（GHG）データサービスを提供するドイツのオーシャンスコアはこのほど、欧州の燃料油規制「FuelEU Maritime」への対応を支援する新ソリューション「FuelEU Planner」を立ち上げた。19日に都内でセミナーを開催し、明らかにした。対応策を検討するための要素が多く複雑な同規制に対し、シミュレーションなどを行い、海運会社がFuelEU Maritime規制への適応を最適化するのを支援する。

「FuelEU Maritime」はEU加盟国に寄港する船舶に来年1月から適用される新規制で、利用した燃料のGHG強度に応じて課金される仕組み。欧州では既に今年から炭素課金制度「EU-ETS」が海運にも導入されているが、アルブレヒト・グレル専務は「FuelEUはEU-ETSに比べると極めて複雑で、海運会社は燃料選択など難しい選択を求められる」と説明。FuelEUは、個船のGHG排出量の過不足（コンプライアンス・バランス）を、翌り（ポーリング）したり、達成分を翌年に繰り越し（バンキング）したり、複数（プーリング）するような新しいコンセプトが導入されているほか、対象となる燃料のライフサイクル（WtW）ベースで評価されること、エネルギーをメガジュールで測定する点など、従来の船舶の環境規制と大きく異なる。さらに、FuelEUのコンプライアンス・バランスの仕組みによってGHG削減分を収益化できる点があり、「EU-ETSが単純に課金されるのに対し、FuelEU Maritimeは海運会社に追加収益とコスト削減の機会を生み出す」（グレル専務）。同社のコスト試算によると、重油を利用した場合は調達・課金

サイトの利便性向上や広告配信などのため端末情報等を利用しています。詳しくは「個人情報保護方針」をご覧ください。

の合計コストがトン当たり計739ユーロになるのに対し、廃食用油由来のバイオ燃料を利用するとFuelEUによる収益が調達価格を上回り、トン当たり239ユーロの収益が生まれる可能性があるという。

オーシャンスコアの「FuelEU Planner」は、海運会社の個船・船隊の運航実績と、規制に関する諸条件をもとに、燃料選択やコンプライアンス・バランスの利用による効果をシミュレーションするツール。これにより対策の効果を比較検討できるようにし、船舶・船隊の対策案を支援できるとした。

セミナーではこのほか、DNVのドミニク・ン氏がFuelEUの規制の特徴や、DNVのデータプラットフォーム「Veracity」とオーシャンスコアのデータ連携などを紹介した。

---

海事プレスに掲載の記事・写真等の無断転載を禁じます。すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。

© Kaiji Press Co., Ltd. All rights reserved.

No reproduction or republication without written permission.

サイトの利便性向上  
や広告配信などのため  
端末情報等を利用  
しています。詳しく  
は「個人情報保護方  
針」をご覧ください。